

総合的な学習の時間 学習指導案

1 単元名 祭りでつながる一つの輪 ～みんなが笑顔の都祭をつくろう～

2 単元設定の理由

(1) 単元について

本単元では、3年生の社会科で学んだ千葉市の歴史を土台として始まる。本校は150周年の歴史があり、学区には古くからある神社や祭りがある。そこで、子どもたちに学区にある古い建物について知っていることを聞いてみると、寺や神社が学校の周りにあることがあげられた。中でも学校から一番近い諏訪神社では、隔年で「諏訪神社例大祭」が行われ、子ども神輿もコロナ禍以前はあったようで、当時は学校を早退して担ぎに行っていたようだった。しかしここ6年間開催されていないため、今都小に通う子どもたちには知られていない。

本学級の子どもたちは、学区が広いため自宅付近でなければ、学校の近くの建物であっても知らないことが多い。そこで、本単元では、地域の方や祭りや神社に関係のある人と関わりがもてるような学習を取り入れ、自分たちの住む地域にあるよさを守っている人の存在に気付かせたい。守っている人の存在を広めることで、地域やよさを地域の一員であることを味わわせたい。そして自分たちの住む地域の良さや自分たちがそれを守っていく必要があることに気付かせていく。また、自分たちの住む地域によさがあり、その祭りは地域の方々の協力によって受け継がれてきたことを知ることで、自分たちには何ができるかを考える場を設け、今後地域とどうかかわっていくか自分なりの考えがもてるようにしていきたい。

第一次では、「諏訪神社例大祭」に関わる人々の思いを聞いて、神社や祭りをを行う意義や祭りのよさについてインタビューや資料を調べたり、体験したりする活動を通して、「諏訪神社」や「諏訪神社例大祭」のよさについて理解を深めていきたい。

第二次では、第一次で知った祭りのよさや意義、地域の方と関わって体験したことを生かして、自分たちで祭りを作り上げていく活動を行う。実際に祭りをを行う活動を通して、祭りのよさや楽しさを実感したり地域のために祭りに参加したりしたいという思いがもてるようにしていきたい。さらに、地域の方と もっと関りをもって、地域のことを知りたいという地域への思いも深めていきたい。

(2) 児童の実態 (男子19名 女子15名 合計34名) ※未回答1人

①総合的な学習の時間 アンケート

(ア) 興味や疑問に思ったことから、調べたいことや解決したいこと(課題)を見つけることができますか?

できる	まあまあできる	あまりできない	できない
7人 (21.1%)	16人 (48.5%)	10人 (30.3%)	0人

(イ) インタビューをして、自分が調べたい情報を集めることができますか?

できる	まあまあできる	あまりできない	できない
17人 (51.5%)	11人 (33.3%)	4人 (12.1%)	1人 (3.0%)

(ウ) 自分の思いや考えをもって、相手に伝えることができますか？

できる	まあまあできる	あまりできない	できない
10人 (30.3%)	16人 (48.5%)	6人 (18.2%)	1人 (3.0%)

(エ) 地域の方や自分が知りたいことに詳しい人と関わりたいと思いますか？

思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない
17人 (51.5%)	13人 (39.4%)	3人 (9.0%)	0人

(オ) 友達と意見交換をしたり、アドバイスをし合ったりすることができますか？

できる	まあまあできる	あまりできない	できない
14人 (42.4%)	17人 (51.5%)	2人 (6.0%)	0人

(カ) 自分の成長（できるようになったこと）を見つけることができますか？

できる	まあまあできる	あまりできない	できない
12人 (36.4%)	20人 (60.6%)	1人 (3.0%)	0人

②住んでいる「まち」に関するアンケート

(ア) あなたは住んでいる「まち」（地域）が好きですか？（未回答2人）

好き	どちらかという人喜欢	どちらかという人喜欢でない	好きでない
26人 (81.2%)	6人 (18.8%)	0人	0人

(イ) 理由を教えてください。

好き・どちらかといえば好きな理由 ○地域の人はみんな優しいから。(8) ○仲の良い友達や家族がいるから。(6) ○住んでいるし、生まれ育ったまちだから。(5) ○快適に過ごせる(落ち着いている)から。(5) ○不審者がいない(平和だ)から。(4) ○自然豊かで、森があるから。(3) ○いろいろなイベントをやっているから。(3) ○歩いて行ける距離にあるスーパーが多いから。(2) ○これからどんな地域になるか楽しみだから。○おいしい食べ物があるから。○高台だから。 ○地域の人たちは、困ったら助けてくれて協力的だから。○祭りがあるから。 ○学校が楽しいから。○広い公園があるから。○これから友達になれそうな人がいそうだから。
--

(ウ) あなたは住んでいる「まち」（地域）の祭りを知っていますか？

知っている	知らない
5人 (15.2%)	28人 (84.8%)

(エ) 知っていると答えた人はどんな祭りですか？

○2017年に家の近くの広場でやっていた祭り。 ○加曾利幼稚園近くの神社の秋祭り。 ○諏訪神社で行われていた祭り。(2) ○矢作第2か第3公園の祭り。
--

(オ) その祭りにどんな人が関わっているか知っていますか？

○地域の方(2) ○神主さん ○親 ○太鼓をたたく人 ○法被を着ている人 ○お神輿を担ぐ人

(カ) その祭りに参加したことはありますか？

ある	ない
4人 (80.0%)	1人 (20.0%)

(キ) ある人は、その祭りのどのようなところに“よさ”を感じましたか？

- 町内みんなで協力してお神輿を担いだところ。
- とても活気があって、にぎやかに行っていたところ。
- みんなで神輿を担いだところ。
- 小さい祭りだったけど、にぎやかだったところ。

(ク) 祭りに参加したいですか？

参加したい	あまり参加したいと思わない
31人 (93.9%)	2人 (6.0%)

(ケ) 理由を教えてください。

- 参加したい理由
- 楽しそうだから、楽しいから (17)
 - みんなで楽しみたいから (7)
 - 行ったことがなく、どのような感じなのか知りたいから (3)
 - 地域の方と一緒にやって仲良くなりたいから (3)
 - 地域のことをもっと知りたいから (2)
 - 元気が出るから
 - 祭りの良さを味わいたいから
 - 未回答
- あまり参加したいと思わない理由
- 未回答 (2人)

※上記の割合は、小数第一位まで表示している。そのため、端数処理の関係で、内訳の和が100%にならない場合がある。

<①の考察>

「興味や疑問に思ったことから、調べたいことや解決したいこと(課題)を見つけることができますか？」の項目では、「あまりできない」「できない」と答えた児童が10人と、学級の約3分の1程度いた。興味関心があることから自分で課題設定をすることに対して苦手意識をもっている児童が多いことが、この結果から読み取れる。そこで、教師が意図的に地域の方や学級・学年の人と関わる機会を多くつくり、まずは、様々な人と関わることから始めていきたい。そして、第二次で学年の友達と一緒に祭りの内容を考えたり、地域の方にアドバイスをもらったりしながら、自分たちの祭りを行っていく。そうすることで、友達に自分の思いを伝える場面や地域の方々と関わる場面が多くなり、自分の思いや考えをもって対話ができるようになることを考える。児童が、自分の思いや考えをもつことでさらに疑問が生まれ、それを解決していきたいという自らの課題設定につながるのではないかと考える。児童が「自分はこう思う」や「自分はこれについて知りたい」と言えるくらいになるように、友達や地域の方と様々な場面で関われるように単元の計画を立てていきたい。

<②の考察>

「あなたは住んでいる「まち」(地域)の祭りを知っていますか？」の質問では、知らないと回答した児童が多かった。また、知っている人もその祭りがいつどこで行われているのか、どんな人が祭りに関わっているのかをはっきりと回答できる児童はほとんどいなかった。この結果から、まずは、祭りに関わる様々な地域の方と関わりをもち、祭りを行う活動を通して自分たちの住む地域にも祭りがあることを知り、地域の祭りのよさに気付かせていきたい。そして、地域の方ともっと関わりをもつて地域のことを知りたいという地域への思いも深めていきたい。

3 単元目標

「諏訪神社例大祭」に関わる人々の思いを知ったりよさについて調査したりする活動を通して、地域の歴史や伝統を守ろうとする人の存在に気づき、地域の一員として自分たちにできることは何かについて考え、自らも地域への愛着をもって地域を大切にできるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①「諏訪神社例大祭」の存在を知り、地域の方の協力によって開催されてきたことや地域の方の思いや願いを理解している。 ②「諏訪神社例大祭」やよさや祭りの実現に向けて必要な情報を適切な方法で収集をしている。 ③自分たちの地域のよさへの理解は、地域の方、もの、ことと関わりながら探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	①「諏訪神社例大祭」との出会いから問いを見だし、「諏訪神社例大祭」のよさを探る課題を自らつくり、解決に向けて見通しをもっている。 ②課題を解決するために必要な情報を、手段を選択して収集したり種類に応じて蓄積したりしている。 ③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えている。 ④相手や目的に応じて、わかりやすく表現している。	①地域の祭りについて関心を持ち、自分の生活を見直したり、他者の考えを認めたりしながら、自分の意思で課題を解決しようとしている。 ②「諏訪神社例大祭」のよさを伝えるために、祭りに関わる地域の方や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組もうとしている。 ③地域の方との関わりの中で自分にできることを見付けようとしている。

5 指導計画（40時間扱い）

学習過程	○主な学習活動	学習形態	○教師の指導・支援 ☆評価の観点【方法】	時数
第一次 祭りについて知ろう。				
課題設定	○諏訪神社例大祭の動画を見て、地域に祭りがあったことを知り、取り組む方向性を決める。 ○調査していくべきことを設定し、目指す姿を考えてテーマ名（単元名）や活動内容を決める。	個人 ↓ 学級全体	○ただ祭りを行うのではなく、目的意識をもって取り組んでいけるように声を掛ける。 ☆思判表①【話し合いの様子】	3
情報収集	○地域の方や祭り関係者に話を聞く上で質問したいことや知りたいことをまとめる。	個人 ↓ 学級全体	○祭りの映像を見たり、自分たちが祭りをやったりする中で知っておきたいこと、関心をもったことについて質問するように声を掛ける。 ○質問内容が浮かばない児童に向けて、友達の質問内容を参考にできるように、Google Jamboard を活用する。 ☆思判表①【Google Jamboard、ワークシート】	10

	<p>○諏訪神社や諏訪神社例大祭、お囃子などについて地域の方や祭り関係者に話を聞いたり、実際に体験したりする。</p> <p>○それぞれのよさを整理しながら、祭りのよさや祭りを行う意義について知る。</p>	<p>個人 ↓ 学級全体 ↓ 学年全体</p>	<p>○祭りのテーマを学年全体で統一していけるようにするために、掲示物を作成して聞いた内容をまとめ、学年全体で共有できるようにする。</p> <p>☆知技② ☆思判表② ☆主態①</p> <p>【体験会やインタビューの様子、ワークシート】</p>	
第二次 祭りをやってみよう。				
課題設定	<p>○自分たちで祭りを作り上げていく上で目指す姿を考えて、祭りのテーマ名を話し合い、決める。</p> <p><予想されるテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と一緒に盛り上がる祭り ・地域の方が喜ぶ祭り ・地域の方が笑顔になれる祭り ・みんなで一つになれる祭り 	<p>学級全体 ↓ 個人 ↓ 学級全体 ↓ 学年全体</p>	<p>○自分たちだけでなく、祭りについて教えてくれた地域の方たちのことも考えた祭りにしていけるように声を掛ける。</p> <p>○テーマが思い浮かばない人には、まずはどんな祭りだったら盛り上がりたり楽しんだりできるかを考えるように声を掛ける。</p> <p>☆思判表① ☆主態②【話し合いの様子】</p> <p>☆主態①【活動の様子】</p>	2
	<p>○祭りに取り入れたい内容を考えて、話し合い、内容ごとのグループを決める。</p> <p>○それぞれの活動のテーマを決める。</p> <p><予想される内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お囃子がやりたい ・お神輿を担ぎたい ・お神輿を作りたい ・法被を作りたい ・お囃子会のことや諏訪神社の祭りのことを伝えたい <p>○取り組みたい活動が決まったら、個々にテーマを考える。</p>	<p>学級全体 ↓ 個人</p>	<p>○体験会やインタビューした内容をもとに、取り入れたい内容を考えるよう声を掛ける。</p> <p>○体験会やインタビューで知った内容を伝えたり、広めたりする活動を取り入れてもよいことを伝える。</p> <p>☆思判表①【話し合いの様子】</p> <p>☆主態②【話し合いの様子、振り返りシート】</p>	2
	<p>○祭りに取り入れたい内容のグループごとに、テーマを決める。</p> <p><予想されるテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見に来てくれた人が楽しめる演奏にしよう ・見に来てくれた人も参加できるようなお神輿にしよう ・見ても楽しめるお神輿のデザインにしよう ・みんなが笑顔になれるデザインの法被を作ろう ・地域の祭りのことを知ってもらおう 	<p>学級のグループ ↓ 学年のグループ</p>	<p>○みんなで決めた祭りのテーマに沿ったテーマになるように声を掛ける。</p> <p>☆知技①【活動の様子】</p> <p>☆思判表①【活動の様子、話し合いの様子】</p> <p>☆主態②【話し合いの様子、振り返りシート】</p>	2 (本時1/2)

整理・分析	○グループごとに分かれて、お祭りに向けて準備をする。	グループ	○困ったことがあったときは、実際に取り組んでいる地域の方に助言をもらうことができるよう準備をしておく。 ☆知技② ☆思判表③ ☆主態①② 【活動の様子、振り返りシート】	1 6
まとめ・表現	○自分たちが考えた祭りを家の人たちに披露する。	学年全体	○事前に活動する目的を確認したり、安全指導を行ったりする。 ☆思判表④ ☆主態② 【活動の様子、振り返りシート】	2
	○参加した保護者や地域の方からアンケートを取り、アンケートの集計結果から活動の成果や課題を確認し、自分の成長を振り返る。	個人 ↓ 学級全体 ↓ 個人	○活動の成果や課題が明確にわかるようにアンケートの集計結果を活用する。 ☆知技③ ☆主態③【振り返りシート】	3
	○今までの学習を振り返り、今後、地域のためにできることを考えて、まとめる。	個人	○自分の成長が確かめられるように、振り返りシートや制作物などを見返し、自分が学習した履歴を確認するよう声を掛ける。 ☆知技③ ☆主態③【振り返りシート】	

6 研究主題との関連

未来を生きる力を育む総合的な学習の時間の創造 ～どこでも、だれでもできる実践を目指して～

（視点1）子供が主体的・協働的に取り組む探究的な学び

○学習対象（諏訪神社例大祭にかかわっている人や祭りのことを知っている地域の方）との関わりを深める
「諏訪神社例大祭」が6年ぶりということもあり、祭りの存在自体を知らない児童も多い。そこで、社会科で学んだ千葉市の歴史を土台として始め、子どもたちに学区にある古い建物について挙げてもらう。そこで出てきた諏訪神社で行われる「諏訪神社例大祭」と関わる機会をつくり、祭りや神社のことを知るところから始めていきたい。「諏訪神社例大祭」にかかわっている人や祭りのことを知っている地域の方に、祭りに対する思いや願いについてインタビューをして、よさについて知っていく。そしてその人たちの思いや願い、よさやよさを全校児童や保護者、地域の方などに紹介していく。こうした活動を行うことで、児童にとって地域が少しずつ身近な存在へとになっていき、地域に対する思いや興味が深まっていくようになると考える。地域に対する興味や関心が深まり、祭りを残したいという思いや地域の人が守ってきた伝統を広めていきたいという思いがもてるようになれば、児童は進んで地域のためにできることはないかと考えるようになり、探究的な学びができるようになる

(視点2) 子ども自身が、自分の成長を実感できる指導と評価の工夫

○振り返りの充実

毎時間ではなく子どもたちの思いや考え、学びを見取って、新たな発見や気づきがあったと思われるときに、自分自身の活動や学びを振り返る時間を設定していく。書く内容の選択肢を与え、振り返りの視点を項目分けした色別のカードにして、一つ一つ分かりやすく振り返りができるようにする(※図参照)。そうすることにより、書くことに苦手意識をもっている児童もカード集めの感覚で楽しく進んで書けるような工夫をしていきたいと考える。自分が分かったことやできるようになったこと、やってみたいことなどを書き溜めることで、自分自身の思考を可視化することができ、学びの履歴を確認して自分の成長を実感することができるようになる。教師は、振り返りシートに記載した内容から丁寧に見取り、コメントや声掛け、適切な助言をして児童が意欲的に活動に取り組めるようにしていく。また、記載した内容から児童の思いや考えを汲み取って、柔軟に活動の内容を修正したり、入れ替えたりしながら学習を進めていけるようにしていきたい。このように振り返り活動を充実させて、子どもたち自身が自分の成長を実感したり、子どもたちが主体的に探究的な学習を行ったりすることができるようにしていきたい。

さらに、振り返りシートだけでなくワークシートや制作物など学習したものをファイリングしたり、教室内に掲示したりすることで、自分が学習してきた履歴を見て、自分の成長を実感できるようにしていきたい。

※図

①	②が
③	④知

わかったこと…ピンク色
できたこと・がんばったこと…黄色
すごいと思ったこと…黄緑色
これからやってみたこと・さらに知りたいこと…水色

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ☆「諏訪神社例大祭」の存在を知り、地域の方の協力によって開催されてきたことや地域の方の思いや願いを理解している。 [知識及び技能]
- ☆「諏訪神社例大祭」のよさを伝えるために、祭りに関わる地域の方や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組んでいる。 [学びに向かう力、人間性等]

(2) 展開 (17 / 40)

時程	学習活動	○教師の指導・支援 ☆評価の観点【方法】
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に決めた祭りに取り入れたい内容や自分に取り組んでいく活動について、学級全体で確認する。 ・学年で決めた祭りのテーマを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな活動があって、自分はどれを選んだかがすぐに確認できるように、ワークシートや掲示物を用いる。 ・学年で決めた祭りのテーマを掲示物で分かりやすく示しておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> 学年で決めた祭りのテーマに沿って、グループのテーマを考えよう。 </div>		
個別 活動 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の続きで、学年で決めた祭りのテーマに沿って、グループごとにテーマを決める。 ・テーマにしたいキーワードを付箋に書いて挙げていく。 <p><予想される児童の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しめる ・明るく元気な ・地域の方の思いを大切に ・伝統を大切に ・昔の様子を復活させる ・見に来てもらう人に喜んでもらえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで簡単に共有することができるように付箋を活用し、付箋1枚につき1つのキーワードを書くように声を掛ける。 ・なぜそのキーワードをテーマに入れたいか、理由も考えながら書くように声を掛ける。 ・自分の考えを書けない子に対しては、これまでに体験したことや聞いた話をまとめた掲示物や振り返りシートを見るように、声を掛ける。 <p>☆「諏訪神社例大祭」の存在を知り、地域の方の協力によって開催されてきたことや地域の方の思いや願いを理解している。 [知識・技能] 【活動の様子】</p>
グループ 話し 合い 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で考えたテーマを見直し、話し合いながら付箋を動かしながらKJ法を用いて、整理・分析をする。 <p><目指したい(A) 児童の考え></p> <p>A1：地域の人や都小出身の家の人は、祭りが好きだったから、昔のように盛り上がるように派手なお神輿を作りたい。</p> <p>A2：伝統的なお祭りだからみんなに知ってもらうために、お神輿の担ぎ方も諏訪神社例大祭と同じように、掛け声を掛けて担ぎたい。</p> <p>A3：お囃子には、みんなに神社から幸せを運ぶ獅子舞も取り入れたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋を動かしながら似ている言葉ごとにまとめるよう声を掛ける。 ・付箋を動かしていく際に、どうしてこのキーワードを出したのか、理由も話しながら分けていくように声を掛ける。 ・似ている言葉ごとにまとめたら、まとめた言葉ごとに小タイトルをつけるように声を掛ける。 <p>☆「諏訪神社例大祭」のよさを伝えるために、祭りに関わる地域の方や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組んでいる。 [主体的に学習に取り組む態度] 【話し合いの様子】</p>
全体 共有 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに出たテーマを発表する。 <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで楽しめる」は、多くのグループで出たキーワードだね。 ・みんな似たような思いをもっているんだ。 ・「伝統を大切に」は自分たちのグループでは出なかったから、新しい意見だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのグループで考えたテーマ(キーワード)と他のグループで考えたテーマ(キーワード)を比較しながら、発表を聞くよう声を掛ける。 ・共通点を見つけることで、みんなが同じテーマに向かって、祭りをつくっていきたいという思いがあることに気付けるようにする。 <p>☆「諏訪神社例大祭」のよさを伝えるために、祭りに関わる地域の方や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組んでいる。 [主体的に学習に取り組む態度] 【話し合いの様子】</p>

<p>振り返り 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の振り返りをする。 ＜目指したい（A）児童の考え＞ A：友達の考えを聞いて、みんないろいろな思いをもって祭りを実現したいということがわかった。みんなで話し合っ1つのめあてに向かうことは、祭りを成功させるうえで大切なことだと感じた。 ・次時の学習活動を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で「できたこと・頑張ったこと」「わかったこと」「すごいと思ったこと」「これからやってみたいこと・さらに知りたいこと」振り返りカードに記入するように声を掛ける。 ☆「諏訪神社例大祭」の存在を知り、地域の方の協力によって開催されてきたことや地域の方の思いや願いを理解している。 <p style="text-align: right;">【知識・技能】【振り返りシート】</p>
--------------------	---	--